



# 飯塚市教育委員会事業評価結果報告書

(平成25年度分)

～飯塚市の未来を担う～

「かしこく」「やさしく」「たかましい」子どもたちの育成

平成26年11月

飯塚市教育委員会

# 目 次

I	はじめに	・・・・・・・・・・ P 1
II	飯塚市教育委員会について	・・・・・・・・・・ P 1
III	教育委員の活動状況	・・・・・・・・・・ P 2
	(1) 教育委員会会議	
	(2) 研修会等への参加状況	
IV	平成25年度事務事業評価	・・・・・・・・・・ P 5
	1 点検・評価について	
	(1) 点検・評価する事務の対象	
	(2) 点検・評価の方法	
	(3) 結果の取扱い	
	2 全体評価結果	
	(1) 全体集計結果	・・・・・・・・・・ P 5
	(2) 外部評価講評	・・・・・・・・・・ P 6
	3 取組み施策別評価結果	
	(1) 学校教育	・・・・・・・・・・ P 8
	(2) 社会教育	・・・・・・・・・・ P 11
	(3) 点検・評価シート一覧表	・・・・・・・・・・ P 13
	(4) 点検・評価シート（各課提出）	・・・・・・・・・・ P 14
●	参考資料	
	平成25年度教育委員会会議議決及び報告事項一覧	・・・・・・・・・・ P 29

＜本報告書作成にあたり外部評価いただいた方々＞

福岡教育大学教授	井上 豊久
福岡教育大学講師	森山 一昌

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすために、平成 25 年度の飯塚市教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 飯塚市教育委員会について

### 【組織、構成】

都道府県及び市町村等に置かれる行政機関のひとつで、非常勤の教育委員をもって組織される合議制の執行機関であり、学校教育、生涯学習、文化等に関する事務を担当しています（飯塚市教育委員会は 5 人の教育委員で構成されています）。

### 【教育委員の任命】

市長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものの中から、市長が議会の同意を得て任命し、その任期は 4 年（再任可）となっています。

### 【運営等】

教育委員会は、大局的な見地から教育行政の基本的方針を決定し、その方針決定を受け、教育長が事務局を指揮監督して具体的な事務を執行する仕組みとなっています。

### 【飯塚市の教育委員】

職名	氏名	現在の任期
委員長	上田 敬子	平成 24 年 5 月 17 日～28 年 5 月 16 日
委員(委員長職務代行者)	大隈 恵子	平成 26 年 5 月 17 日～30 年 5 月 16 日
委員	高石 双樹	平成 23 年 5 月 17 日～27 年 5 月 16 日
委員	安永 卓生	平成 25 年 9 月 30 日～29 年 5 月 16 日
委員(教育長)	片峯 誠	平成 26 年 5 月 17 日～30 年 5 月 16 日

### Ⅲ 教育委員の活動状況

#### (1) 教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回の「定例会」と委員長が必要と認めるとき等に開催する「臨時会」からなっており、付議案件及び懸案事項などの審議を行い、教育行政の方針等を決定しています。

#### 【平成25年度開催状況等】

- ① 開催回数：13回（うち定例会12回、臨時会1回）
  - ② 付議件数等：議決事項・・・ 53件 ※「参考資料」参照  
報告事項・・・ 54件 ※「参考資料」参照
  - ③ 主な付議案件
    - 飯塚第一中学校、飯塚第三中学校及び菰田中学校の統合
    - 教育財産の取得の申出（飯塚市立穂波東中学校区小中一貫校用地）
    - 飯塚市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例
    - 飯塚市指定有形文化財の指定名称の変更及び追加指定（明星寺関係資料）
- etc

#### (2) 研修会等への参加状況

教育委員会会議以外にも、公式行事への参加、学校の訪問・意見交換会、他市町教育委員との合同研修会など、様々な活動を行っています。以下は、主に教育委員会事務局に案内や参加依頼があった案件のみ記載していますが、これ以外にも地域における様々な各種行事等へ参加しています。

#### ◇会議・研修会等への出席

時期	名称	概要
平成25年4月	福岡県市町村教育委員会委員長・教育長会議	○福岡県教育行政の主要施策について及び総会
5月	第59回福岡県市町村教育委員会女性教育委員研修会	○総会及び義務教育における学校経営の現状と課題についての講演等
	新しい学びプロジェクト研究協議会	○協調学習の学習指導法の実践化に向けた関係者間の確認・協議
	第65回全国都市教育長協議会	○新しい時代を拓く教育行政の在り方についての研究大会
6月	飯塚市暴力追放・生活安全推進住民会議	○総会及び暴力排除に関する講話

平成 25 年 6 月～ 平成 26 年 2 月	管内市町村教育委員会教育長会議	○教育行政の諸問題について
7 月	第 1 回教育力向上福岡県民運動筑豊地区推進会議	○教育力向上県民運動推進状況について
	教育力向上福岡県民運動推進会議	○教育力向上県民運動の推進方策についての報告及び協議
	筑豊市町村教育委員会連絡協議会	○子供を非行から守るための講演
8 月	第 60 回福岡県市町村教育委員会女性教育委員研修会	○いじめ問題等を通して教育委員会のあり方についての講演会
	夏季管理職研修会	○授業が変わる学習が変わる～子どもと創る協調学習～についての講話 ○「クレーム対応の心構えと対応術」についての講演会
	福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育長研修会	○「心ゆたかに生きる」についての講演「学校教育及び生涯学習等に関する事項」について各部会で研究討議
	第 10 回九州地区市町村教育委員研修大会	○各教育委員会相互の情報交換をはかり教育行政の充実発展を目的とする講演会
9 月	筑豊市町村教育委員会教育長協議会第 1 回研修会	○小中一貫校施設見学及び体力向上・小中一貫の各取組みについての視察
	第 2 回教育力向上福岡県民運動筑豊地区推進会議	○優秀実践校の選考及び県民フォーラム
	筑豊教育事務所管内市町村教育委員等人権同和研修会	○子供の人権についての講演
10 月	飯塚市発達障がい研修会	○発達障がいのある子どもたちの就労についてパネルディスカッション
	第 42 回飯塚市部落解放研究集会	○人権同和問題の認識を深めるための講演会及び討論会
	第 27 回九州都市教育長協議会	○総会及び教育行財政に関する研究大会・講演会

11月	筑豊市町村教育委員会教育長協議会 第2回研修会	○学力向上施策取組についての紹介及び協議
12月	冬季管理職研修会	○これからの人権教育にむけて～飯塚市人権アンケートの結果から～についての講話 ○本立ちて道生ず～今、学校管理職に問われるもの～についての講演会
	第3回教育力向上福岡県民運動筑豊地区推進会議	○脳科学からみた基本的な生活習慣の重要性についての講演会
平成26年2月	筑豊市町村教育委員会連絡協議会研修会及び会議	○筑豊教育事務所管内の現状と課題についての講演
	筑豊ブロックPTA連合会研究集会 母親部会研修会並びに飯塚市PTA連合会家庭教育講演会	○夢をつかむ法則についての講演及び演奏
3月	第4回教育力向上福岡県民運動筑豊地区推進会議	○筑豊地区教育力向上県民フォーラム及び県民運動の推進状況について

◇学校訪問・行事等への出席

時期	名称	概要
平成25年4月	小学校・中学校入学式	市立小学校22校 市立中学校12校
平成25年4月～26年3月	定例校長会	円滑な学校運営を図るために、様々な教育課題について協議
平成25年6月、11月	学校開放日	市立小学校22校・中学校12校で実施される公開授業の視察
平成25年6月～11月	学校訪問	鎮西中学校等各小中学校を訪問、授業視察等を踏まえ学校運営等について意見交換を実施
平成25年10月、11月	学校研究発表会	穎田校・片島小学校・鯉田小学校等を訪問、実践的な取組み等の研究発表の視察
平成26年3月	小学校・中学校卒業式	市立小学校22校 市立中学校12校

## IV 平成25年度事務事業評価

### 1 点検・評価について

#### (1) 点検・評価する事務の対象

飯塚市教育施策要綱に掲げる主要施策を達成するために取り組んだ、主な事業を対象としています。

#### (2) 点検・評価の方法

(1)に係る事業ごとに、必要性、効率性、公平性の観点からその達成度について、それぞれの所管課・部署が自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者の方々に外部評価をいただきました。

外部評価については、教育に関し学識経験を有する者で、公正な意見を述べることを期待できる人を想定し、教育系大学の教授と講師、計2名の方に評価をいただきました。また、事業ごとに評価者と各所管課との間でヒアリングを実施し、各事業の達成度や成果等について意見聴取を行いました。

この点検・評価においては、事業ごとにその達成度・成果等に応じて、評価者2名の合議のもと、A（達成している）、B（概ね達成している）、C（課題がある）、D（事業見直しが必要）で評価しています。

#### (3) 結果の取扱い

評価の高い事業は引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に、事業の見直しについても検討していきます。

### 2 全体評価結果

#### (1) 全体集計結果

飯塚市教育施策要綱に掲げた主要施策を達成するために、平成25年度に実施した事務事業の中で、事業の必要性や継続性等の観点から学校教育分野で5事業、社会教育分野で5事業の計10事務事業の選定を行い、平成26年9月1日（月）ヒアリングを実施し外部評価者より評価をいただきました。

その結果、目標達成度は次の表のとおり、「A 達成している」が5事業で40%、「B 概ね達成している」が6事業で60%、「C 課題がある」、「D 事業見直しが必要」は0事業でした。

《評価結果集計表》

( )内は率

評価 区分	A 達成	B 概ね達成	C 課題がある	D 要事業見直し	全 体
学校教育	1	4	0	0	5
社会教育	3	2	0	0	5
計	4 (40%)	6 (60%)	(-)	(-)	10 (100%)

## (2) 外部評価講評

□福岡教育大学教授 井上 豊久

平成 25 年度に実施された 10 事業について聞き取りを含めて評価を行った。10 事業中で「達成」4 件、「概ね達成」6 件と全体的に評価できる。以下、考察を提示する。

学校教育に関しては重点施策である「小中一貫教育の推進」が継続して図られている。コーディネーター研修が進められ、先駆的に取り組んでいる他校の取組みの成果の共有が出来ていることは評価できる。今後は一貫性をさらに高め、防災面などで協働での取組みの一層の充実や教科ごとの体系性の確立が小中一層連携して求められよう。学力向上に関しては、全国の平均を小学校が上回り向上傾向にあるなど評価できる。学力と生活との関連も含め、さらなる検証、改善が求められよう。協調学習は、成果が待たれるところであるが、結果分析を学力だけでなく子どもの意識面もみるなど多面的に的確に行う必要がある。ALT などによって国際理解教育の推進事業も着実に進められているが、TT のあり方の開発など、さらなる特色づくりが必要とされよう。保護者の不安解消につながっているなど、特別支援教育の充実では、障がいのある子どもに関する教育相談の充実は評価できるが、就学指導委員会では、背景も含めた子どもや保護者に寄り添った適切な対応がより求められ、スクールカウンセラーとの連携の充実も重要と考える。

社会教育に関しては全体として充実して実施されているが、飯塚市少年の船事業では、参加者に関してはアンケート結果からも効果がみられ評価できるが、募集定員を満たしておらず、参加費や日程、行先等に関する検討が求められよう。不登校の児童生徒を対象とした体験活動の実施では、飯塚市独自の取組である生活体験学校の活用は有意義と思われる。ボランティア団体や学校とのさらなる連携・協働が求められよう。地域における子育て支援体制の構築では、子育て人材派遣が 37 回行われるなど、海外派遣事業に参加した中学生のボランティア活動は特色あるものとして評価できる。子育て支援グループの活動支援は親子ふれあいキャンプ、アウトドアスクールなど、参加者はそれほど多くはないが飯塚市レクリエーション研究会によってさまざまな取組みが行われていることは評価できる。子育て支援ボランティアグループの活動支援では、市内の大学生からなるボランティアグループが情報化への対応を主体的に行うなど市民活動団体や NPO との新しいあり方がみられる。大学の主体性を引き出す形で、パートナーシップの視点から大学とさらに連携し、大学からの学生に対する教育的評価も求められよう。



飯塚市教育施策要綱に掲げられた主要施策を達成するために、学校教育分野の5事業、社会教育分野の5事業とも前年度までの課題や評価を的確に捉え、事業の目標達成まで継続的に取り組んでいることは評価できます。総合的な評価としては、目標達成度は「概ね達成している」と判断されます。以下、それぞれの事業について講評の概要を述べます。

はじめに学校教育分野の事業について述べます。「小中一貫教育の推進」「学力向上」の事業については、目標値である「小中一貫教育コーディネーター研修会の回数」「徹底反復学習を核として学力向上に取り組むモデル校数・学力向上検証委員会の実施数」「協調学習の研究指定校数」はどれも100%の達成率であることについては評価できます。今後更なる学力向上を目指すために次のような具体的な取り組みを期待します。小中一貫教育については、9年間を見通した系統性のある学習内容と学習指導法の作成。学力向上推進事業については、取り組みの具体的な成果と課題の分析と課題解決の方策の確立。協調学習に係る研究指定事業については、各学校における授業実践の推進などの普及方策の充実。国際理解教育の推進については、外国人講師を小中学校に派遣することにより、児童生徒にコミュニケーション能力が身につけてきていることや教師の指導力が向上してきていることについて評価できます。今後は、外国人講師と小中学校の児童生徒や教師の交流だけではなく、カルフォルニア州サニーベール市の学校と学校間交流を行う小中学校が増えることを期待します。障がいのある子どもに関する教育相談の充実については、「就学指導委員会答申と就学先の一致率」や「就学指導委員会における保護者の意見表明率」からも本事業は大いに評価できます。今後も、教育相談の増加から就学相談時の助言者への謝礼金及び委員報酬増が見込まれますが、本事業の継続と発展を期待します。

次に、社会教育分野の事業について述べます。飯塚市少年の船事業については、事業が継続されていることが大いに評価されます。子育て支援ボランティアグループの活動支援事業については、飯塚レクリエーション研究会が今後も活動を継続していただけるように支援していただきたいと思えます。また、地球っ子ネットワークの活動も大いに評価されますので、今後も市内の大学生のボランティア活動への支援を継続していただきたいと思えます。不登校の児童生徒を対象とした体験活動については、不登校の児童・生徒が学校復帰をすることができるように関係機関と連携し、活動内容を充実されることを期待します。地域における子育て支援体制については、今後のボランティアの人材確保や地域の指導者育成に期待したいと思えます。



## ☆学力の向上

学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着を図ります。小学校第1学年から第4学年及び中学校第1学年においては、少人数による学級編制を行い、一人ひとりの個性や能力を引き出す教育活動を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
2	学力向上推進事業の実施	学校教育課	学力向上の推進モデル校として小学校1校、中学校2校を指定し、小学校は算数と漢字、中学校は数学において補助教材を用いた徹底反復学習が行われている。このモデル事業について学力向上検証委員会における、指導方法の改善や成果、課題等を整理し市内の全小中学校に広げている取組みは評価できる。しかし、この事業を評価する際の成果が明確に表わせるような目標値等の工夫改善が求められる。	B
3	協調学習に係る研究指定事業の推進	学校教育課	協調学習推進に係る研究指定校として3校（小学校2、中学校1）を指定し、各教員が協調学習の授業を実践し、校内研修・授業研究会・研究発表会等を実施した実践的教育研究が図られている。今後も、研究指定校での指導方法や子どもたちの理解を踏まえ全小・中学校に広めていく為にも、授業実践の推進等が必要となるので、この点を踏まえた当該事業の継続・拡大に努めて頂きたい。	B

## ☆豊かな人間性の育成

教育活動全体を通して、道徳性を養う心の教育の充実を図ります。また、国際化に対応するため、外国語指導助手の活用及び外国人児童生徒への教育支援に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
4	国際理解教育の推進	学校教育課	小学校では 5・6 年生、中学校では全学年を対象に外国人講師を学校に派遣し、児童・生徒に英語に慣れ親しむ態度やコミュニケーション能力の育成、教師の英語能力及び指導力の向上を図るという取組みは評価できる。また、カリフォルニア州サニーバール市の学校とも学校間交流を実施され、積極的な国際理解教育の取組みをなされている。しかし、グローバル化する社会においては、国際理解教育はより重要なものとなってくることが予想される。さらに、小学校での英語の教科化も見通しながら、小中学校で一貫した取組みとなるよう工夫改善をし、より充実されることが望まれる。	B

## ☆特別支援教育の充実

特別支援教育の改善・充実を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
5	障がいのある子どもに関する教育相談の充実	学校教育課	子どもの心身の発達や就学に関する悩みや不安のある保護者を対象に、就学相談会を実施している。実施に向けて、保健センターや保育所等と連携を図ることで対象児の掘り起こしや就学相談の保護者への案内を行い、前年比で相談件数が伸びていることは、教育相談の充実に繋がっており大変評価できる。今後も、継続して関係機関との連携強化に努め幅広い周知活動を実施し特別支援教育の改善と充実に努めてほしい。	A

## (2) 社会教育

### ☆交流事業及び体験活動の充実

将来に対する目的意識や社会性、主体性を培うための様々な交流事業の推進と体験活動の充実を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
6	飯塚市少年の船事業の実施	生涯学習課	青少年と熟年者が集い団体生活を通じて、知識や経験、社会性を培うと共に仲間づくりを推進し、沖縄の歴史風土と戦争の悲惨さを学び平和の尊さを認識し自己を高める事業に取り組まれていることは非常に素晴らしい。さらに、他市では事業の縮小や廃止されている中で目標値を100人と設定され継続されていることは事務局の努力が評価できる。子ども・保護者には、募集のチラシや活動報告等で事業目的や趣旨を十分に理解してもらい、地域のリーダー的な役割を担う青少年の育成に繋がって頂きたい。	A
7	不登校の児童を対象とした体験活動の実施	生涯学習課	適応指導教室に通う不登校の傾向がある児童生徒を対象として、庄内生活体験学校の施設を利用したの農耕作業等体験活動を通じ、自己に対して自信を持たせ積極的な心情や態度を形成させ、集団生活での協調性を養わせる事業は積極的に取り組んで頂きたい。農業体験は、自分達で何かを作りそれを食することができる素晴らしい体験授業である。今後の事業展開として、適応指導教室には通っていない子どもたちに対しても、関係機関と十分に連携され一人でも多くの子どもたちが学校生活に復帰させることができるように、事業の充実及び啓発等に努められることを期待したい。	B

## ☆子育て支援事業の実施

子育てに関する学習機会及び学習情報の提供等、子育て支援を実施します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
8	地域における子育て支援体制（子育て人材派遣）の構築（人材育成グループ活動支援）	生涯学習課	中学生海外研修参加者を研修後に、市主催事業や市民団体等の活動にボランティアとして参加させ、地域リーダーとして活躍する青少年の育成や地域ボランティア活動等に参画させることで青少年育成を図っている。この先駆的な取組みは素晴らしいと考える。この事業において設立されたユリススという団体は、地域ボランティア活動に積極的に取り組まれている。今後も人材の確保や地域の指導者育成のため、行政、地域並びにボランティア活動に参加する団体等をしっかりと連携させるよう、行政側から積極的な働き掛けを行うことで新たな人材確保や取組み内容等の充実に期待したい。	B
9	子育て支援ボランティアグループの活動支援（青少年体験活動事業）	生涯学習課	昭和 51 年に市の主催によるレクリエーションスクールが開校し修了生によって設立された飯塚レクリエーション研究会が、会員相互また他の団体との交流を図り、親と子どもと一緒に楽しめるレクリエーション活動を継続して実践していることは大変素晴らしい。今後も継続して、地域コミュニティ形成・発展のために頑張っていたきたい。	A
10	子育て支援ボランティアグループの活動支援（地球っ子ネットワーク活動支援）	生涯学習課	地球っ子ネットワークという大学生グループが、情報教育の育成のためのコンピューターセミナー、野外活動を通じて協調性・自立性を身につけるための夏休みセミナーキャンプ、モノづくりを通じての楽しさ・面白さ・達成感を得るためのキッズロボセミナー等を企画・立案し多種多様な活動を実践している。行政の関わりは、活動に対する指導・助言や活動場所の確保、広報活動の支援が主な内容であり、学生達が活動するには欠かせない内容である。今後とも、学生達への活動支援及び事業内容の充実に努めてほしい。	A

事務事業に係る点検・評価シート一覧表（平成25年度実施）

項目	シートNo.	取組み施策等
学 校 教 育	1	小中一貫教育推進コーディネーターの設置など推進体制の整備
	2	学力向上推進事業の実施
	3	協調学習に係る研究指定事業の推進
	4	国際理解教育の推進
	5	障がいのある子どもに関する教育相談の充実
社 会 教 育	6	飯塚市少年の船事業の実施
	7	不登校の児童を対象とした体験活動の実施
	8	地域における子育て支援体制（子育て人材派遣）の構築 （人材育成グループ活動支援）
	9	子育て支援ボランティアグループの活動支援 （青少年体験活動事業）
	10	子育て支援ボランティアグループの活動支援 （地球っ子ネットワーク活動支援）

対象年度	25年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	<p>【1. 小中一貫教育の推進】中学校区を単位として義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進します。一貫性と連続性のある学習指導や生徒指導を行うとともに、地域と連携しながら特色ある教育活動を展開します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	小中一貫教育推進コーディネーターの設置など推進体制の整備	
	(2)事業等の内容	<p>市内34校の小中一貫教育コーディネーターに対して、その役割や運営の在り方等の理解を深めるための研修会を実施する。</p> <p>また、小中一貫教育コーディネーターを中心に、各中学校区で推進体制を整備し、研修計画を立て、中学校区ごとに小中一貫教育についての理解と啓発を図り、小中一貫教育を推進する。</p>	
	(3)事業等の目標値	年間2回の研修会開催、小中一貫教育コーディネーター34名の研修会全員の参加	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p><b>【取組み状況】</b> 小中一貫教育コーディネーター研修会を開催。 校区ごとに小中合同による小中一貫教育研修会、先進地視察をもとにした交流会、9年間を見通した学習系統表の作成、社会性の育成の取組み（SEL-8S）家庭啓発通信の作成配布、出前授業や中学校体験授業等の実施。</p> <p><b>【成果】</b> すべての学校で小中一貫教育コーディネーターを中心とした推進体制が確立し、小中一貫教育の推進が図られている。 小中一貫教育の啓発のために、リーフレットを作成し、保護者や地域に配布した。</p> <p><b>【目標値との対比】</b> 小中一貫教育コーディネーター研修会を、計画通り年2回実施し、目標値の100%参加率が達成でき、本研修会では、コーディネーターによる実践発表を取り入れるなど、他中学校区の取組みの成果や課題を共有し、自校の取組みの充実に生かすことができた。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p><b>【課題】</b> 義務教育9年間を見通した教育プランのもとに学習指導や生徒指導の工夫改善を行い、一層の児童生徒の社会性や学力の向上と教師の指導力向上を図る。 校区によっては推進に温度差があるため家庭や地域に対しての広報啓発を強化するとともに研究計画やまとめの実践交流を実施し、計画的な研究推進を図っていく必要がある。 今後、各中学校区における小中一貫教育コーディネーターを中心とした取組みの一層の充実や保護者や地域への啓発を図る必要がある。</p>		



対象年度	25年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	<p>【2. 学力の向上】</p> <p>学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成を図ります。小学校第1学年から第4学年及び中学校第1学年においては、少人数による学級編制を行い、一人ひとりの個性や能力を引き出す教育活動を推進します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	学力向上推進事業の実施	
	(2)事業等の内容	<p>小学校1校、中学校2校を「モデル校」に指定し、小学校においては算数、漢字の教材、中学校においては数学の教材を補助し、徹底反復学習を中心として学力向上を図る。また、「学力向上検証委員会」において、「モデル校」の取組みについて陰山英男氏、小河勝氏から直接指導を受けることにより指導法を改善するとともに、成果を市内の全小中学校に広げる。</p>	
	(3)事業等の目標値	モデル校3校指定、学力向上検証委員会年間3回実施	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>「モデル校」3校においては、支給した教材を活用して徹底反復学習に組織的に取り組んだ。取組み状況について、年間3回の「学力向上検証委員会」において、学力向上アドバイザーである陰山英男氏、小河勝氏による指導助言を受け、成果と課題を整理し指導方法の改善に繋ぐことができた。</p> <p>【成果】</p> <p>小学校は学校全体で組織的に取り組むことにより、児童生徒の集中力や学習意欲が高まり、学習基礎・基本の定着が図られた。その結果学力検査結果で伸びが見られた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>「モデル校」を3校指定し、徹底反復学習を核として学力向上に取り組んだ。また、「学力向上検証委員会」を年間3回実施し、取組みの計画、実施状況、評価、改善策を明確にした。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>小学校においては、モデル校として、教材を効果的に活用しながら陰山メソッドに組織的に取り組んだことが、児童の学力向上につながった。</p> <p>中学校においては、組織的な取組みが十分ではなかった。来年度はモデル校へ、組織的な推進体整備についての指導や、研修会を通して数学科以外の教科における徹底反復学習の取組みの推進を図る。</p>		

対象年度	25年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	<p>【2. 学力の向上】</p> <p>学力向上のため、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成を図ります。小学校第1学年から第4学年及び中学校第1学年においては、少人数による学級編制を行い、一人ひとりの個性や能力を引き出す教育活動を推進します。</p>		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	協調学習に係る研究指定事業の推進	
	(2)事業等の内容	<p>飯塚市教育委員会が、学校教育の充実と発展をめざして取り組む学校を、市内小中学校より研究指定校として選定する。研究指定校は具体的な子どもの変容が期待されると共に、本市教育の振興に寄与する教育の研究を行う。</p> <p>特に市の教育施策である協調学習に係る研究を行う学校を指定校とすることにより、協調学習の研究推進を図る。</p>	
	(3)事業等の目標値	協調学習に係る研究指定校3校指定（全研究指定校6校）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>研究指定校6校中3校を協調学習推進に係る研究指定校とし、東京大学三宅なほみ教授等の指導による校内研修会、授業研究会、研究発表会等を実施し、協調学習に係る実践的教育研究を推進することができた。</p> <p>【成果】</p> <p>研究指定校においては、各教員が協調学習の授業実践を行うことにより、協調学習についての研究が深まった。また、研究成果として研究発表会を行い、公開授業をとおして市内教員に協調学習の授業づくりについて提案し、理解を図ることができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>3校の研究指定校の指定</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>協調学習についての教育研究や授業実践を研究指定校3校以外の市内小中学校へ広げて行く必要がある。そのために、指定校の研究発表会・授業公開や研修会を実施し、小中学校の教員に対する研修の場を提供するとともに、市教育研究所とも連携し、教育実践の普及を図りたい。</p>		

対象年度	25年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【3. 豊かな人間性の育成】教育活動全体を通して、道徳性を養う心の教育の充実を図ります。また、国際化に対応するため、外国語指導助手の活用及び外国人児童生徒への教育支援に努めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	国際理解教育の推進	
	(2)事業等の内容	<p>小学校では、小学5、6年生を対象に外国人講師を学校に派遣し、英語によるコミュニケーションや効果的な指導のあり方について研修を行う等、教師の指導力の向上を図る。</p> <p>中学校では、外国語の授業に外国人講師を派遣し、生徒への英会話によるコミュニケーション能力や積極的に英語に慣れ親しむ態度を育成する目的で本事業を行っている。</p> <p>また、小中学校ともに外国人講師による関わりによって、外国の生活や文化に触れる機会をもたせることもねらいに含まれている。</p>	
	(3)事業等の目標値	派遣学校数／派遣予定学校数＝100%	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p><b>【取組み状況】</b></p> <p>小学校の講師派遣にあたっては、教師の指導力向上のために効果的な指導のあり方や教材の活用方法等についての研修を行った。さらに、外国語活動の授業において、児童と外国人講師が直接会話する場面を設ける等、外国語の音声に親しませ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図った。</p> <p>中学校においては、訓練及び研修を受けた外国人講師を委託業者より派遣し、外国語の授業において、音声指導や英語表現の活用指導を教師とともにやり、生の音声や表現に触れる機会を設けることで、外国語授業の充実を図った。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>小学校では、教師の指導力向上とともに、児童についても外国人講師と積極的にコミュニケーションを図る場面が授業意外でも見られる等、英語への興味・関心が高まった。</p> <p>中学校では、計画的に外国人講師を活用した授業が行われ、生徒もネイティブな英語に慣れつつあり、外国語授業の充実に繋げることができた。</p> <p><b>【目標値との対比】</b></p> <p>派遣学校数／派遣予定学校数＝100%を達成することができた。</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>今後は、外国人講師の母国での生活や文化に触れる機会を通して、異文化理解を図る活動の充実を図っていく。一校に入る講師は限られるので、講師からの情報を収集し提供することで、より多くの異文化情報に触れる機会を与える。</p> <p>また、昨年12月に友好都市関係協定を締結したサニーベル市と二瀬中学校及び伊岐須小学校との学校間交流の取組みの支援を行う。交流校区については徐々に拡大し、国際理解教育の推進充実を図っていく。</p>		

対象年度	25年度	所管課名	学校教育課
1 区分	学校教育		
2 主要施策	【6. 特別支援教育の充実】 特別支援教育の改善・充実を図ります。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	障がいのある子どもに関する教育相談の充実	
	(2)事業等の内容	子どもの心身の発達、就学について悩みや不安のある保護者を対象に就学相談会を実施し、保護者の同意のもと飯塚市心身障がい児（生）就学指導委員会（以下「就学指導委員会」とする）又は学校へ繋ぎ、個々の子どもにあった教育環境を築く。	
	(3)事業等の目標値	①就学相談見込み件数 20 件（7 月実施分） ②就学指導委員会答申と就学先の一致率 90% ③就学指導委員会における保護者の意見表明率 60%	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>7 月に就学相談会を実施し、10、11 及び 12 月に追加実施 就学指導委員会を 9 月及び 12 月に実施</p> <p>【成果】</p> <p>保健センター、保育所等との連携を図り、対象児の掘り起こし及び就学相談の保護者への案内を行った結果、相談件数、就学指導委員会審議対象者数が増加し、より多く対象者児について個々のニーズに応じた教育環境を築くことができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>①については、7 月の相談件数は 37 件であり、目標値を上回った。 ②については、目標 90%に対し、一致率は 89.28%（達成率 99.20%）となり若干下回った。 ③については、目標 60%に対し、表明率は 30.35%（達成率 50.58%）にとどまった。</p>		

<p>5 取組・事業の課題、 今後の方向性など</p>	<p><b>【成果】</b>  成果指標をみると、就学指導委員会答申と就学先の一致率は増加した。一方、委員会における保護者の意見表明率は前年度より減った。しかしこれは意見表明者数より審議対象者数の伸びが大きかったものに起因し、表明者数自体は増えている。全体的に、前年度に比べ就学相談件数及び就学指導委員会審議者数は大幅に増え、より広く事業が実施できた。</p> <p><b>【課題】</b>  就学相談件数及び就学指導委員会審議件数の増加が今後も見込まれる。そのために就学相談時の助言者への謝礼金及び委員報酬増が必要となる。就学相談について早い時期に広く周知する必要がある。保護者及び保育所等に就学について適切な説明を行い就学に対する理解を深める必要がある。就学指導委員会において充実した審議を行うため対象者の情報収集を関係機関と連携し、しっかりと行う必要がある。</p>
---------------------------------	--

対象年度	25年度	所管課名	生涯学習課																																
1 区分	社会教育																																		
2 主要施策	【4. 交流事業および体験活動の充実】将来に対する目的意識や社会性、主体性を培うための様々な交流事業の推進と体験活動の充実を図ります。																																		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	飯塚市少年の船事業の実施																																	
	(2)事業等の内容	<p>○青少年と熟年者(シニア)が一堂につどい、レクリエーションや団体生活を通して社会性を培うとともに仲間づくりを推進し、沖縄の歴史風土と戦争の悲惨さを学ぶことで平和の尊さを認識する。さらに、シニアとのふれあいの中から豊かな知識と経験を受け継ぎ、心身ともに健やかな地域のリーダーとして活躍する青少年を育成することを目的として実施する。</p> <p>①定例会議 5月から7月(毎週水曜日)                  ②事前研修(仲間づくり、団体行動、宿泊研修、レクリエーション、本研修で披露する船まつりの練習等)                  ③現地研修(沖縄県(本島のみ) 4泊5日)                  ④市長表敬訪問(毎年代表校より団員を選出し、本研修の報告等を行う。)                  ⑤写真展(事前研修から本研修までの活動記録写真の展示)                  ⑥報告書お渡し会                  ⑦事後研修(宿泊研修。仲間づくり、団体行動の大切を再認識する。)</p>																																	
	(3)事業等の目標値	参加定員人数(子ども団員)の達成(100名) 研修事業の実施																																	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況・成果・目標値との対比】</p> <p>○団体生活を通して青少年期に必要な意欲や責任感、コミュニケーション能力を育み、心と体が伴った成長を促すためにも、主体性・社会性を育成する事業としてボランティアから構成される運営委員会と協働により実施することができた。研修終了後の保護者アンケートの結果においても、好評ではあったが、募集定員に対する、参加者の達成率は74%と昨年度に比べ減少している。</p> <p>[実施内容]                  ①定例会議 5月から7月(毎週水曜日)                  ②事前研修 6月から7月 4回(宿泊研修1回含)                  ③沖縄本研修 7月24日から28日 3泊4日 1回                  ④市長表敬訪問 8月 1回                  ⑤写真展 8月 1回                  ⑥報告書お渡し会 10月 1回                  ⑦事後研修 2月 1回(宿泊研修)                  ○保護者アンケート調査 2月(対象69世帯/回答33世帯 48%)</p> <p>○年度別事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加負担金</td> <td>56,000円</td> <td>56,000円</td> <td>前年同額</td> </tr> <tr> <td>申込人数</td> <td>87人</td> <td>74人</td> <td>募集100名(小学4年から中学1年生)</td> </tr> <tr> <td>事前研修</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>宿泊研修・レクリエーション 仲間づくり等</td> </tr> <tr> <td>現地研修</td> <td>4泊5日</td> <td>4泊5日</td> <td>平和研修・地域交歓会等</td> </tr> <tr> <td>写真展</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>研修記録の掲示</td> </tr> <tr> <td>報告書お渡し会</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>作文など研修報告書のお渡し会</td> </tr> <tr> <td>事後研修</td> <td>1泊2日</td> <td>1泊2日</td> <td>宿泊研修・レクリエーション等</td> </tr> </tbody> </table>				H24	H25	備考	参加負担金	56,000円	56,000円	前年同額	申込人数	87人	74人	募集100名(小学4年から中学1年生)	事前研修	4回	4回	宿泊研修・レクリエーション 仲間づくり等	現地研修	4泊5日	4泊5日	平和研修・地域交歓会等	写真展	1回	1回	研修記録の掲示	報告書お渡し会	1回	1回	作文など研修報告書のお渡し会	事後研修	1泊2日	1泊2日	宿泊研修・レクリエーション等
	H24	H25	備考																																
参加負担金	56,000円	56,000円	前年同額																																
申込人数	87人	74人	募集100名(小学4年から中学1年生)																																
事前研修	4回	4回	宿泊研修・レクリエーション 仲間づくり等																																
現地研修	4泊5日	4泊5日	平和研修・地域交歓会等																																
写真展	1回	1回	研修記録の掲示																																
報告書お渡し会	1回	1回	作文など研修報告書のお渡し会																																
事後研修	1泊2日	1泊2日	宿泊研修・レクリエーション等																																

5 取組・事業の課題、 今後の方向性など	○各小学校対象児童生徒に対しチラシや応募用紙を配布するなど、十分な広報活動を行ってきたが、参加者が思うように増加しなかった。参加者減少の原因としては、家庭の財政事情や学校行事等が影響しているものと推察する。しかしながら、参加者の個人負担の軽減は現状では難しいため、受益者負担が現状より増加しないよう事業内容の精査と併せて、学校行事等との日程の調整を図る。
-------------------------	---

対象年度	25年度	所管課名	生涯学習課																																																				
1 区分	社会教育																																																						
2 主要施策	【4. 交流事業および体験活動の充実】将来に対する目的意識や社会性、主体性を培うための様々な交流事業の推進と体験活動の充実を図ります。																																																						
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	不登校の児童生徒を対象とした体験活動の実施																																																					
	(2)事業等の内容	<p>○学校教育課適応指導教室と連携して実施する事業である。</p> <p>○不登校の傾向のある児童生徒を対象とし、庄内生活体験学校にて農耕体験や植樹体験など、集団で体験学習をすることを通じて、彼らの自立と自律を図るとともに、他者との協調や連携が出来る態度を体得させることを目指す。</p> <p>また、自分にもできることがあるという自己有能感や自尊感情を持つことにより自分自身に自信を深め、積極的な心情や態度を形成していきます。これらの積み重ねが学校に復帰する土台づくりにつながる。</p>																																																					
	(3)事業等の目標値	平成25年度の実施回数を7回と計画しており、参加対象児童生徒の出席率を100%とする。																																																					
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況・成果】</p> <p>適応指導教室を対象に農耕作業等体験活動を7回、延べ人数61名（中学生28名、指導者33名）の参加がありました。（100%達成）</p> <p>参加児童においては自分にもできることがあるという自己有能感や自尊感情を持つことにより自分自身に自信を深め、積極的な心情や態度を形成していくことができた。</p> <p>また、団体での活動を行うため、協調性を養うことができ、農耕作業を通じて精神の安定化につながり、学校生活復帰への支援を行うことができた。</p> <p style="text-align: center;">（事業の参加状況）平成25年度 <span style="float: right;">（人）</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施日程</th> <th rowspan="2">申込者数</th> <th rowspan="2">延参加数</th> <th colspan="2">内訳</th> <th rowspan="2">活動内容</th> </tr> <tr> <th>児童生徒</th> <th>指導者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月14日</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>農耕体験等</td> </tr> <tr> <td>5月17日</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>農耕体験等</td> </tr> <tr> <td>5月21日</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>農耕体験等</td> </tr> <tr> <td>5月24日</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>農耕体験等</td> </tr> <tr> <td>5月31日</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>農耕体験等</td> </tr> <tr> <td>11月6日</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>農耕体験等</td> </tr> <tr> <td>11月15日</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>農耕体験等</td> </tr> </tbody> </table>					実施日程	申込者数	延参加数	内訳		活動内容	児童生徒	指導者	5月14日	9	9	4	5	農耕体験等	5月17日	9	9	4	5	農耕体験等	5月21日	9	9	4	5	農耕体験等	5月24日	9	9	4	5	農耕体験等	5月31日	9	9	4	5	農耕体験等	11月6日	8	8	4	4	農耕体験等	11月15日	8	8	4	4	農耕体験等
実施日程	申込者数	延参加数	内訳		活動内容																																																		
			児童生徒	指導者																																																			
5月14日	9	9	4	5	農耕体験等																																																		
5月17日	9	9	4	5	農耕体験等																																																		
5月21日	9	9	4	5	農耕体験等																																																		
5月24日	9	9	4	5	農耕体験等																																																		
5月31日	9	9	4	5	農耕体験等																																																		
11月6日	8	8	4	4	農耕体験等																																																		
11月15日	8	8	4	4	農耕体験等																																																		



<p>5 取組・事業の課題、 今後の方向性など</p>	<p><b>【課題】</b> 毎年度、対象となる児童生徒の数は異なり、実施時期や活動回数も異なってくることから、この事業の活動内容が農耕体験活動が相場となってくる。 よって、農耕体験以外の活動が出来ないか、検討が必要である。</p> <p><b>【方向性】</b> 平成 27 年度より指定管理者へ移行予定であり、導入後は、更なる内容の充実化を図るため、新規事業やボランティア活動等との連携したプログラムの研究を行う。</p>
---------------------------------	---

対象年度	25年度	所管課名	生涯学習課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【8. 子育て支援事業の実施】子育てに関する学習機会及び学習情報の提供等、子育て支援を実施します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	地域における子育て支援体制（子育て人材派遣）の構築 （人材育成グループ活動支援）	
	(2)事業等の内容	<p><b>【人材育成グループ・ユリシス活動支援】</b> 中学生海外研修参加者を対象として市主催事業や市民団体等の活動にボランティアとして参加することにより、地域リーダーとして活躍する青少年の育成、及び地域ボランティア活動等に積極的に関わる青少年の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議への参画（月1回・年間12回）</li> <li>・ボランティア活動の情報提供（月1回活動情報誌の発行）</li> <li>・活動に対する指導と助言、活動場所の確保・調整</li> </ul>	
	(3)事業等の目標値	①活動参加（実施）回数 37回 ②活動参加者数 60名	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p><b>【取組み状況】</b> この団体の会員は飯塚市中学生海外研修事業に参加した中・高生であり、ボランティア活動の情報提供や定例会議への参画を通して大人スタッフに対する指導と助言などの支援を行った。</p> <p><b>【成果】</b> 様々なボランティア活動の情報提供を行ったことにより、活動参加者数については目標を上回った。また、助成金申請を積極的に行ったことにより、ボランティア活動に参加するだけでなく、中高生が中心となってイベントの企画を行うなど活動が活性化された。</p> <p><b>【目標との対比】</b>                      ①活動参加（実施）回数 実績 27回 達成率 72.97%                      ②活動参加者数 実績 73名 達成率 121.67%</p>		
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>様々なボランティア活動の情報提供を行ったことにより、地域ボランティア活動を積極的に行っている。また、ボランティア活動に参加するだけでなく、中・高生が中心となってイベントを企画するなど積極的に活動を行っている。</p> <p>平成25年度は助成金を活用したイベントを実施することができたが、単年度の助成であり今後も積極的に助成金の申請を行っていく必要がある。</p>		

対象年度	25年度	所管課名	生涯学習課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【8. 子育て支援事業の実施】子育てに関する学習機会及び学習情報の提供等、子育て支援を実施します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	子育て支援ボランティアグループの活動支援 (青少年体験活動事業)	
	(2)事業等の内容	<p><b>【飯塚レクリエーション研究会による青少年体験活動事業】</b>                      飯塚レクリエーション研究会の定例会に参加し、活動内容について助言等を行う。また活動に関しては、活動場所の確保や広報面での協力を行う。                      青少年体験活動事業としては、青少年期に必要な自発性と自立性の育成、また参加者のふれあいを目的とした体験活動の実施をとおして、体験活動の必要性や楽しさを伝える。</p> <p>(1) 親子ふれあいキャンプ                      8月に親子で参加できる1泊2日のキャンプを実施。風呂焚き体験やクラフト、料理作り等を通して、アウトドア（キャンプ）の楽しさはもちろん、参加者同士のふれあいの大切さを感じてもらおう。</p> <p>(2) アウトドアスクール                      3月のコミセンまつりにて、アウトドアクラフトを行う。ドングリや木等の自然素材を使用して作品を製作し、参加者に自然とのふれあい、またものづくりの大切さを伝える。</p>	
	(3)事業等の目標値	100%（計画の実施）	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p><b>【取組み状況・成果】</b>                      小学校低学年までの子どもであっても、保護者同伴であれば参加できる体験活動を通して、必要な知識や技術の講習を行い、子どもたちの主体性・社会性を養成するとともに、活動によるふれあいを通して体験活動の必要性や楽しさを参加者に感じてもらえるような事業を実施した。（100%実施）</p> <p><b>[実施内容]</b></p> <p>(1) 親子ふれあいキャンプ 8月3日～4日（1泊2日）                      参加者 6家族19名                      未就学児童から小学校低学年児童とその保護者を対象に、体験活動を実施。</p> <p>(2) アウトドアスクール 3月2日（1回） 参加者16名                      コミセンまつり（公民館まつり）に合わせ、自然のものを利用したクラフト講習会を実施。</p> <p>※活動に対し、市からの直接的な財政支出はない。</p>		

<p>5 取組・事業の課題、 今後の方向性など</p>	<p><b>【課題】</b>近年、各種団体が行う体験活動への参加者が減少傾向にある。本事業についても参加者の減少が懸念されている。</p> <p><b>【方向性】</b>今後、事業内容については手軽に参加できる内容を考え、保護者同伴による体験活動を継続して実施することで、子どもだけでなく、その保護者等にも体験活動の楽しさや必要性を伝えることで、子どもたちの体験活動への参加増加を目指していく。</p>
---------------------------------	---

対象年度	25年度	所管課名	生涯学習課
1 区分	社会教育		
2 主要施策	【8. 子育て支援事業の実施】子育てに関する学習機会及び学習情報の提供等、子育て支援を実施します。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	子育て支援ボランティアグループの活動支援 (地球っ子ネットワーク活動支援)	
	(2)事業等の内容	<b>【地球っ子ネットワーク活動支援】</b> 活動に対する指導と助言・活動場所の確保・広報活動の支援等とあわせ補助金の交付を行う。 <b>【計画】</b> ①小学生対象コンピューターセミナー ②夏休みセミナーキャンプ ③働きたい女性のためのパソコン基礎講座 ④キッズロボコンセミナー ⑤アジア太平洋こども会議イン・福岡 こども大使受け入れ	
	(3)事業等の目標値	100% (計画の実施)	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>○このグループは、市内の大学生からなるボランティアグループで、今年度も情報教育を中心とした活動に対する支援を行った。</p> <p>①小学生対象コンピューターセミナー (小学校2校で実施)                      ◆5月～3月 (学期ごとに募集) 延べ790名参加                      ※基本操作から、名刺づくり、パワーポイント講座、ホームページ作り等</p> <p>②夏休みセミナーキャンプ (ふれあい塾 (福智町) で実施)                      ◆8月20日～22日小学4年生～中学3年生を対象 8名参加                      ※3日間のキャンプを通して、パソコンセミナー、野外活動を行い、最終日には保護者参加による発表会を実施</p> <p>③働きたい女性のためのパソコン基礎講座 (中学校パソコン室で実施)                      ◆9月5、6、12、13日 (全4回)                      ※単なる講習ではなく、再就職支援として技術を演習で身につけるエクセル講習を実施</p> <p>④キッズロボコンセミナー (イイズカコミュニティセンターで実施)                      ◆3月28日 小学4年生～中学校2年生対象 15名参加                      ※ロボットキットを作成し、競技大会をおこなう。</p> <p>⑤アジア太平洋こども会議イン・福岡 子ども大使受け入れ                      ◆7月16日～22日パプアニューギニアからこども大使4名 (11～12歳の男女各2名) と引率者1名のホームステイを伊岐須小学校に通う5家庭で受入れを行なう。</p> <p><b>【事業成果】</b></p> <p>①小学生対象にパソコンを使用したセミナーを行わせることにより、子どもたちの情報教育の育成を行い、パソコンの基本知識を身につけさせた。</p> <p>②野外活動を通じて集団協調性・自立性を身につけさせることが出来た。</p> <p>③「出産、育児」などを理由に職を離れた女性の再就職支援として、4日間 Excel の基本的な使い方、オートフィル機能、関数等就職に必要な基本的な知識を学んでいただき、再就職への後押しを行うことが出来た。</p>		

	<p>④あまり作製することがないロボットを作ることを通じて、モノを作る楽しさ、面白さを知り、達成感を参加者に味わってもらうことができ、またひとつのことに真剣に取り組むことの大切さを伝えることが出来た。</p> <p>⑤学校登校やこども大使と寝食をともにしながら交流を深めるホームステイなど、さまざまな異文化交流体験を通して違いを乗り越えてお互いをおもいやる気持ちを育み、国際理解・相互理解を押し進めることが出来た。</p>
<p>5 取組・事業の課題、今後の方向性など</p>	<p>○事業内容が毎年度パターン化しており、事業内容の充実化を図る必要がある。団体へはその旨は協議しており、今後の見直しが必要との結論となる。</p> <p>○団体への活動支援は継続する。</p>

## 参考資料

### 1 平成 25 年度 教育委員会会議付議案等一覧

#### (1) 教育委員会会議付議案件

件 名	提出日
平成 25 年度飯塚市教育施策要綱(継続審議)	H25. 4. 17
臨時代理の承認(職員の人事異動等)	H25. 4. 17
飯塚市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	H25. 4. 17
飯塚市心身障がい児(生)就学指導委員会委員の委嘱又は任命	H25. 4. 17
飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱又は任命	H25. 4. 17
飯塚市学校運営協議会委員の任命	H25. 4. 17
飯塚市指定有形文化財の指定名称の変更及び追加指定(明星寺関係資料)	H25. 4. 17
飯塚市立小中一貫校建設設計者選定委員会規則の制定	H25. 4. 17
飯塚市立小中一貫校建設設計者選定委員会委員の委嘱又は任命	H25. 4. 17
臨時代理の承認(事務局職員の処分)	H25. 5. 17
平成 25 年度教育費に係る補正予算要求	H25. 5. 17
財産の取得	H25. 5. 17
訴えの提起	H25. 5. 17
飯塚市社会教育委員の委嘱	H25. 5. 17
飯塚市図書館運営協議会委員の任命	H25. 5. 17
飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱又は任命	H25. 6. 12
飯塚市公民館運営審議会委員の委嘱	H25. 6. 12
臨時代理の承認(飯塚市職員の給与の臨時特例に関する条例及び飯塚市特別職の職員等の給料の支給の特例に関する条例の一部を改正する条例)	H25. 7. 19
飯塚市立学校通学区域審議会委員の委嘱又は任命	H25. 7. 19
飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	H25. 7. 19
飯塚市図書館運営協議会委員の任命	H25. 7. 19
平成 25 年度教育費に係る補正予算要求	H25. 8. 28
臨時代理の承認(平成 25 年度教育費に係る補正予算要求)	H25. 10. 15
飯塚市立幼稚園の利用料について	H25. 10. 15
平成 25 年度教育費に係る補正予算要求	H25. 11. 25
飯塚市教育委員会事業評価結果(平成 24 年度分)	H25. 11. 25
教育財産の用途廃止(伊岐須小学校の一部)	H25. 11. 25
飯塚第一中学校、飯塚第三中学校及び菰田中学校の統合	H25. 11. 25
飯塚市立中学校設置条例の一部を改正する条例	H25. 11. 25
飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	H25. 11. 25
飯塚市立小中一貫校建設設計者選定委員会規則を廃止する規則	H25. 11. 25
飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	H25. 12. 20
教育財産の用途廃止(旧伊藤伝右衛門邸第 2 駐車場敷)	H25. 12. 20
飯塚市教育委員会公印規則の一部を改正する規則	H26. 1. 24
飯塚市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則	H26. 1. 24
飯塚市庄内生活体験学校条例の一部を改正する条例	H26. 1. 24

飯塚市庄内生活体験学校条例施行規則の一部を改正する規則	H26. 1. 24
飯塚市社会教育委員条例の一部を改正する条例	H26. 1. 24
平成 25 年度教育費に係る補正予算	H26. 2. 18
平成 26 年度教育費に係る当初予算	H26. 2. 18
飯塚市消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例	H26. 2. 18
飯塚市立幼稚園条例の一部を改正する条例	H26. 2. 18
嘉飯地区学校結核対策委員会共同設置の廃止	H26. 2. 18
平成 26 年度飯塚市教育施策要綱	H26. 3. 24
飯塚市給食条例施行規則等の一部を改正する規則	H26. 3. 24
飯塚市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H26. 3. 24
飯塚市教育委員会職員の職務に専念する義務の免除に関する規程の一部を改正する訓令	H26. 3. 24
飯塚市立学校管理規則の一部を改正する規則	H26. 3. 24
飯塚市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令	H26. 3. 24
飯塚市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則	H26. 3. 24
教育財産の取得の申出(飯塚市立穂波東中学校区小中一貫校用地)	H26. 3. 24
平成 25 年度教職員の人事異動等	H26. 3. 25

## (2) 教育委員会会議報告案件

件 名	提出日
平成 25 年第 1 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H25. 4. 17
平成 25 年度学校開放日、運動会・体育会及び修学旅行の日程等について	H25. 4. 17
学校給食費滞納に対する法的措置の専決処分について	H25. 4. 17
平成 25 年度自校式給食施設建設工事等について	H25. 4. 17
飯塚市中学生海外研修事業実施要綱の一部改正(補助執行事務)について	H25. 4. 17
飯塚市文化振興審議会委員の委嘱(補助執行事務)について	H25. 4. 17
飯塚市立図書館公用車における交通事故について	H25. 4. 17
小正西古墳公園トイレ内の火災について	H25. 4. 17
飯塚市立小学校総合的な学習の時間体験活動費補助金交付要綱の制定(補助執行事務)について	H25. 5. 17
第 32 回飯塚新人音楽コンクールについて	H25. 5. 17
平成 24 年度に発生した体罰への対応について	H25. 5. 17
平成 25 年度飯塚市奨学資金貸付審議会に係る諮問及び答申(補助執行事務)について	H25. 6. 12
学校給食費滞納に対する法的措置の専決処分について	H25. 6. 12
飯塚市立鎮西中学校区小中一貫校建設工事基本設計業務委託の契約変更について	H25. 6. 12
飯塚市立穂波東中学校区小中一貫校建設工事基本設計業務委託完了について	H25. 6. 12
飯塚市立幸袋中学校区小中一貫校建設工事設計業務委託プロポーザルの実施について	H25. 6. 12
平成 25 年度中学生海外研修事業について	H25. 6. 12



第 32 回飯塚新人音楽コンクールについて	H25. 6. 12
放課後子ども教室に関するアンケート調査の実施について	H25. 6. 12
リーフレット「飯塚市がめざす教育 NO.3」について	H25. 6. 12
平成 25 年第 3 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H25. 7. 19
平成 25 年度学校開放日の結果報告について	H25. 7. 19
第 34 回飯塚市少年の船事業について	H25. 7. 19
高校総体に伴う歴史資料館の特別企画について	H25. 7. 19
飯塚市立鎮西中学校区小中一貫校建設工事基本設計業務委託の完了について	H25. 8. 28
飯塚市立穂波東中学校区小中一貫校に係る委託契約の締結について	H25. 8. 28
第 34 回飯塚市少年の船事業本研修の実施報告について	H25. 8. 28
平成 25 年度大規模改造工事における変更契約について	H25. 9. 13
公立幼稚園利用料についての答申について	H25. 9. 13
公用車における交通事故について	H25. 9. 13
幸袋中学校区小中一貫校建設工事設計業務の受託候補者特定について	H25. 9. 13
中学生海外研修事業の実施報告について	H25. 9. 13
サイエンスモール in 飯塚 2013 の開催について	H25. 9. 13
平成 25 年第 4 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H25. 10. 15
穂波東中学校区小中一貫教育校開校に伴う小学校名、中学校名及び愛称に関する提案書について	H25. 10. 15
飯塚市中学生海外研修事業に関するアンケート調査について	H25. 10. 15
黒田官兵衛・長政と飯塚地方展について	H25. 10. 15
飯塚市立幸袋中学校区小中一貫校建設工事設計業務委託契約の締結について	H25. 10. 15
平成 25 年度学校開放日の結果報告について	H25. 11. 25
飯塚市社会教育委員の委嘱に関する条例(素案)の市民意見募集の実施について	H25. 11. 25
飯塚市中学生海外研修事業検討委員会の検討結果について	H25. 11. 25
学校給食費滞納に対する法的措置の専決処分について	H25. 11. 25
平成 25 年度自校式給食施設建設等の概要について	H25. 12. 20
飯塚市学校給食体験イベントについて	H25. 12. 20
平成 25 年第 5 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H26. 1. 24
平成 26 年度飯塚市立認定こども園短時間利用(幼稚園)園児募集結果について	H26. 1. 24
飯塚市社会教育委員の委嘱の基準に関する条例(素案)の市民意見募集実施結果について	H26. 1. 24
平成 25 年度飯塚市成人式の結果報告について	H26. 1. 24
心身障がい児(生)の就学等について	H26. 2. 18
飯塚市県指定無形民俗文化財保存会運営費補助金交付要綱(補助執行事務)の制定について	H26. 2. 18
学校給食調理等業務の受託候補者特定について	H26. 2. 18
平成 25 年度及び平成 26 年度大規模改造工事等について	H26. 3. 24
平成 25 年度及び平成 26 年度自校式給食施設整備事業等について	H26. 3. 24
統合後の飯塚第一中学校の開校について	H26. 3. 24